



成功者のあとの後継者

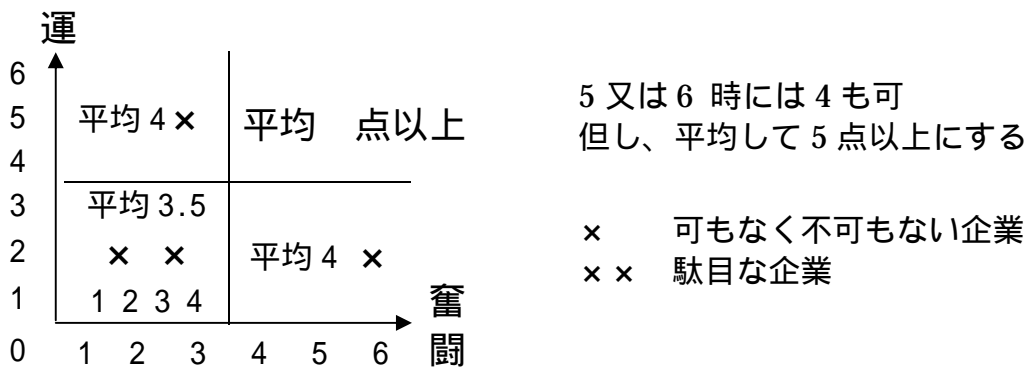
おきなわ F B 短信 (1) (60 秒で読めます。)

平成 21 年 2 月 13 日

3 月 6 日 (金) のシンポジウムの参考のためにお送りしています。

企業の成功は「運」と「奮闘」であると言われる。

傑出した企業家が運と奮闘により「6」を出し、企業の経営を最高に導く。しかし、その成功の維持は難しく、後継者は常に企業を平均点「5」以上に保たなければならない。



サイコロを振ると 6 ~ 1 の目が出る。

何度も振ると確率論によってその平均は 3.5 に近づく。

これは偶然というものであり、受け取る側にとっては運ということになる。

他方、奮闘とは、将に日夜の努力であり、効率的な活動である。その差によって結果にも差が生まれる。

成功者はサイコロの「6」を出す。しかし二代目はそうとはいかない。創業者の頑張りと苦勞を見ていた二代目なら「6」は無理でも「5」を出す。三代目になると「貸し家」と斜めに書く「1 か 2」の者もおれば、創業者からの隔世遺伝によるものが、「6」を出す者もいる。

それでは、後継者が企業経営において、平均して「5」以上を維持する方策とは何か。

第一に奮闘である。これは言うまでもないことである。

第二には運である。運は良くできるのか？ 運を高める方法は無いではない。善行を行ない徳を積むことである。善い取引先と善い取引をすることである。良い友を得て悪に染まらないことである。不正を避けて正義を行うことである。運命の女神に愛されて、良い場、良い時、良い籤を得ることである。

それでも「6」は難しい。でも間違っても「4」以上は取らなければならない。そして平均点を「5」以上にするのが後継者の役目である。

今後ともよろしくお願ひ致します。